

## 平成17年度「幸区魅力ある区づくり推進事業」実施一覧

事業名	事業概要	実施結果(成果)	決算額	事業の方向性	優先度
1 区民との協働による区づくりを目指して					
(1) まちづくり推進事業	区民が自らの地域について話し合い具体的な対策を話し、実践する場として組織した「まちづくり推進委員会」を運営する。	さいわいまちづくり案校部会、ご近所の底力！まちの改善部会、ふるさと部会を立ち上げ、地域組織の連携、防災、歴史をまちづくりにどう活かすか、について取組を行った。	4,196,740円	見直し・改善のうえ継続	非常に高い
(2) 市民活動支援事業	区内で自主的かつ非営利の社会貢献活動を行っている個人や団体への支援のため、広報誌等を作成できる印刷作業コーナーと打合せや作品展示等に利用できる交流スペースの運営を行う。また、区内の市民活動団体のネットワーク化を図るため、懇談会を月1回開催する。	印刷作業コーナー・交流スペースについては、平成18年3月末現在92団体の登録があり、利用されている。毎月の会合のほか、懇談会のたよりの発行や参加団体による無料相談を行った。	1,583,956円	見直し・改善のうえ継続	高い
(3) 既存施設有効活用による市民活動支援事業	区内で自主的かつ非営利の社会貢献活動を行っている個人や団体を支援し、その更なる活性化を推進するため、留守家庭児ホールとして活用されていた空き施設を活用して幸区河原町に、市民活動支援のための区の拠点「幸市民協働プラザ」を整備する。	河原町団地内の旧留守家庭児ホールを改装し、198.26㎡の「幸市民協働プラザ」を整備した。	9,165,450円	見直し・改善のうえ継続	非常に高い
2 豊かな心を育む地域文化の向上を目指して					
(1) さいわいリバーウォッチング事業	身近な川を通じて子どもたちが地域の自然に関する意識を高め、幸区の環境について理解を深めてもらうために環境学習プログラムを実施する。	生きもの調査(17.7.30開催)は55人、源流バスツアー(17.11.23開催)は37人、野草・野鳥観察会(18.3.25開催)は51人の区民の参加を得た。矢上川の自然を観察するイベントを実施することで、地域の身近な自然への関心を高める機会を提供できた。	883,354円	終了する	-
(2) 音楽のまち推進事業	区民に気軽に音楽に親しんでもらうため、区役所ロビーなどで定期ミニコンサートを開きました。また、夢こんさあ50回記念として、区内にあるミュウザ川崎シンフォニーホールにおいて記念コンサートを行う。	幸区役所ロビーで9回、日吉合同庁舎で2回、開催し、毎回200名前後の区民が参加。ミュウザ川崎シンフォニーホールで行われた50回記念コンサートでは900名を越す来場者があった。	1,266,095円	現状どおり	非常に高い
(3) さいわいテクノ塾事業	区内の研究開発施設等において科学技術体験講座を開設することで、ものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学べる場を提供し、各施設が果たす機能への理解を深め、地域と当該施設との結びつきを図る契機とする。	8月6日(21人参加)、27日(20人参加)に東芝科学館で小学生を対象に、11月12日(33人参加)、19日(26人参加)に慶応義塾大学で中・高生を対象に、3月4日、18日、27日(各46人参加)に産業振興会館及びかわさき新産業創造センターで小学生を対象に、科学技術体験講座を実施した。区内青少年に科学技術への関心を抱かせるとともに、各施設への理解を深めることができた。	1,875,500円	見直し・改善のうえ継続	非常に高い
(4) さいわい動物愛護推進事業	子供向けに動物愛護の小冊子を作成・配布し、動物愛護思想の普及啓発を推し進め、子ども達の心に命の尊さを育むとともに、動物の適正な飼育管理について啓発し、また、リーフレットや糞取り袋の配布により動物の飼い主のモラルの向上を図る。	動物愛護小冊子「ワンコからのてがみ」を2,000部作成し、区内小学校1年生に配布するとともに、区役所及び日吉出張所の窓口にて区民に配布をしたが、希望者が多いため、2,000部を増刷し配布した。動物の適正飼養を普及啓発するラミネートパネルを作成し配布した。また、区民祭や公園等でリーフレット300枚及び糞取り袋200袋を配布し、適正飼養について指導を行った。	652,501円	見直し・改善のうえ継続	高い
3 花と緑いっぱいのもちづくりを目指して					
(1) 花と緑のさいわい事業	区民が行う緑化運動や花と緑に関する事業を支援及び推進することにより、緑化意識の高揚と明るい区づくりを図る。また、さいわい歩道橋下の既存の花壇にパンジー等の季節に合った花を植え、区民に潤いと安らぎを与える。さいわい歩道橋付近及びさいわい緑道に花壇を設置することにより、緑化推進とゴミ等の不法投棄防止推進を図る。	花と緑のエキスパート事業(10月29日開催、80名参加)、あおぞら花市(12月5日開催、80名参加)、公共花壇花植え事業(6月、12月開催、100名参加)を実施。また、さいわい歩道橋付近の花壇を整備し、環境改善につながっている。	5,596,767円	現状どおり	非常に高い
4 区民に身近な区及び区役所を目指して					
(1) さいわいガイドマップ改訂・増刷事業	ガイドマップの地図面を最新情報に更新して、情報面も、転入者を中心に必要な内容で改訂・増刷する。	区内転入者や区に興味のある人に向けて、ガイドマップを10,000部増刷した。医療機関や避難場所一覧等の情報を掲載した。また、地図面においては川崎駅西口再開発の状況を反映させるなどの情報の更新を行った。	827,400円	見直し・改善のうえ継続	高い
(2) 区民に身近な区役所づくり推進事業	区民へのサービス向上のため、地域保健福祉課・衛生課・区民課・保険年金課の設備の充実を図る。区役所への誘導サインのメンテナンス、AEDの設置、転入者用封筒の作成、申請受付箱の購入、窓口サービス向上委員会による環境改善、歯科ポータブルユニットを購入。	窓口カウンター等の設置により、来庁する区民が利用しやすい身近に感じる区役所づくりが推進された。また、AEDの設置、歯科ポータブルユニットの購入等により緊急時や災害時の際の体制の整備を推進することができた。さらに、矢向駅前に設置している地図の修正と、7箇所のサインの表示の修正を行った。	7,205,403円	見直し・改善のうえ継続	高い
(3) シンボルマーク普及事業	平成4年に制定されたシンボルマークの普及・促進を行うことで、区のイメージアップを図る。	区主催のスポーツ大会の優勝カップ及びレプリカを作製し、当該チームへ授与。(幸区少年野球春季大会、幸区町内会対抗バレーボール大会、幸区子ども会連合会少年野球大会小学生・中学生の部、幸区町内会対抗グラウンドゴルフ大会、幸区町内会対抗男子ソフトボール大会)	66,663円	見直し・改善のうえ継続	高い
(4) 情報発信推進事業	区ホームページ情報のあり方を見直し、情報発信のホームページにするため、ページを作成する各課担当者及管理職に研修を行う。また、区内の児童にまちへの関心を持ってもらい、イベント等の情報をお知らせするため子ども用ページを新規に立ち上げる。	ページを作成する各課担当者及管理職に研修を実施した。また、幼い頃から自分の住むまちや区役所に関心を持ってもらえるよう、区役所各課の業務内容の解説や、幸区についての豆知識などをわかりやすくまとめたインターネットホームページ「幸子どもページ」を作製した。	903,000円	見直し・改善のうえ継続	非常に高い
(5) 区民広聴の拡充事業	区における広聴活動強化を目的に幸区全世帯に「料金受取人払いがき」を印刷したチラシを配布し、市政情報を提供した上で、これに対する意見、要望等を伺う区民アンケートを行う。	試行の区民会議や魅力ある区づくり推進事業をはじめとする区政をPRし、また区民の意見を集約して、区づくりアンケートの実施結果を区ホームページに掲載した。	958,505円	見直し・改善のうえ継続	非常に高い
(6) 市民利用施設整備事業	市民が主体となって管理運営している施設のうち、壊れて使用不能になっているものについて、設備の更新を行い、市民の利便の向上を図る。	新川崎操作場グラウンドの公共トイレを更新した。	504,000円	終了する	-

平成17年度「幸区魅力ある区づくり推進事業」実施一覧

事業名	事業概要	実施結果(成果)	決算額	事業の方向性	優先度
5 健康で安心な暮らしができる区づくりを目指して					
(1)子育て支援ネットワーク推進事業	育児の孤立化を防ぐために、保護者の求める情報を捉え、写真等を入れた視覚的情報提供を行いながら、子ども関連施設等への参加を促す。また、「子育てネットワーク」の形成および「子育て交流会」等を実施する。	子育て情報誌『「みる」子育て情報さいわい』を11月、3月に各4,000部発行。また、地域で子育てする側、支援する側の交流を図り、子育ての社会化を考えるきっかけとする「みんなで子育てフェスタさいわい」を2月3日に開催し、延べ585人の参加を得た。	1,619,954円	終了を見越して継続する	非常に高い
(2)幸区精神保健福祉ガイドブック作成事業	ストレス社会の現代において、こころの問題や疾病が急増しており、そのような状況に直面している人々や家族を支えることを目的とした、精神保健の基礎知識や地域の身近な相談機関等を掲載したガイドブックを作成し、精神保健福祉の理解と情報を広く伝える。	各関係機関・団体や医療機関等で協力して、冊子3,000部を作成した。現在、区役所や関係機関等の窓口で配布し、当事者や家族が集う場面で読み合わせなどにも活用している。	1,659,000円	終了する	-
(3)安全・安心まちづくり普及啓発事業	「自分たちの町は自分たちで守る。」という精神を持ち、自助・共助の考えのもとに、安全・安心に暮らせるまちづくりを目指す。安全・安心まちづくり推進事業における、ポスター、チラシの作成、つどいの企画・運営を行う。	12月に「安全・安心まちづくり推進の集い」を開催し、81名の区民参加を得た。また、リーフレット600枚、チラシ3,000枚を配布した。	581,923円	見直し・改善のうえ継続	高い
(4)交通安全の普及啓発事業	区民一人ひとりに正しい交通ルールと交通マナー等の交通安全知識を普及し、交通安全意識の高揚を図る。各季の交通安全運動期間中には、町内会・自治会の主要な通学路において街頭指導を行っているため、「交通安全横断旗」を町内会・小学校・幼稚園に配布し、区民及び通行中の車・自転車に対し、広報活動を行う。	各季の運動中は、交通安全指導所での交通指導に広く「横断旗」を、キャンペーンでは「横断幕」を使用して、交通安全意識の高揚を図った。また、懸垂幕を区役所に掲げることで交通安全運動の周知を図った。	1,289,085円	現状どおり	高い
(5)さいわい・自転車との共生のまちプロジェクト	自転車等放置禁止区域内に、放置禁止看板を設置する事により、自転車利用者への啓発を図るとともに、魅力ある区づくり推進事業のPRを図る。	自転車等放置禁止区域内に、シンボルマークを記載した放置禁止看板100枚を設置して、自転車利用者への啓発を図った。	892,500円	見直し・改善のうえ継続	高い
(6)さいわい健全で安全な食生活推進プロジェクト	関係機関・団体の連携により地域の状況に応じた食育の取り組みが行なえるよう体制整備を行い、食育シンポジウムを実施する。また、高齢者が健康で元気に日常生活を送るために、高齢者等に対しても解りやすい食中毒予防、食品衛生上の注意を掲載したリーフレットを作成し、それをもとに指導、啓発を行う。	食育シンポジウムを平成18年3月27日(月)、場所区役所第一会議室で実施。参加人数50名。子どもの食育に携わる関係機関等が、子どもの食を巡る現状と課題を共有し、広く食育に関する取り組みを理解してもらった。保健福祉センターと幼稚園等との連携を取ることができた。また、小冊子「我が家の食品衛生」を1,500部作成して高齢者への配食ボランティアを通じて配布した。	748,877円	見直し・改善のうえ継続	高い
(7)8020運動・小学生啓発プロジェクト	参加者である子どもたちの10年後、20年後の口腔の健康に意識を向かわせるため、実習を兼ねた健康教室を実施しました。また、歯科の観点からこれからの健康づくりの展開について、区民、歯科医療従事者、行政関係者等を対象に講演会等を開催し、健康づくりの知識普及、啓発を行う。	平成17年8月28日の健康教室では親子60名参加があった。参加者は自分の歯型をとり、模型づくりを行った。歯の構造や大切さを学んだことで、将来にわたる口腔の健康の重要性を啓発することができた。講演会は平成17年11月17日、平成18年2月16日、3月16日の計3回実施し、延べ186名の参加者があった。	750,000円	見直し・改善のうえ継続	高い
(8)4ヶ国語防災マップ作成事業	日本語で発行している防災マップを、英語、中国語、韓国語・朝鮮語で発行し、区内在住の外国人世帯の防災意識の高揚と防災知識の啓発を図る。	3,000部を作成し、複数の窓口で配布するとともに、ホームページでもデータを掲載したことで、日本語が読めない外国人が、区内の防災情報を知ることができるようになった。	658,350円	終了する	-
6 その他					
(1)その他事務経費	魅力ある区づくり推進事業全般に関わる事務経費	-	580,974円	現状どおり	非常に高い

決算額 44,465,997円